

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

【プロローグ】

(大ちゃん) こんにちは。『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』著者の吉武大輔です。今日は、公私ともに仲良くさせていただいているベストセラー作家のひすいこたろうさんと対談をさせていただきたいと思います。ひすいさん、どうぞよろしくお願いします。

(ひすいさん) 大ちゃんこと、吉武大輔さんの大ファンのひとり、ひすいこたろうです^^ 大ちゃんは僕にとって、この星の「未来」。僕らに未来を見せてくれる人。だから、いつも刺激をいただいています。今日は色々、この本について聞けるということで楽しみにしてきました。よろしくお願いします。

早速ですが、この本が形になるまで、かなり大変だったとか？

(大ちゃん) はい、本当に大変でした。振り返ってみて、1人では書けなかったなと思います。ライターさんや佐川奈津子さん、文字起こしチームのメンバー、編集者のあやのちゃんなど、たくさんの仲間のおかげで書き上げることができた一冊だと思っています。何度も挫折しそうになりました(笑)

(ひすいさん) 大変だったのは、文章化する際の技術的なところで、コンテンツに関しては、ブレや迷いはなかったの？

(大ちゃん) コンテンツに関してのブレはなかったです。講師業は長かったので、話すことは得意でした。例えば、伝えたいもののイメージが100という数値だとして、「話す」と、200や300になるんです。でも、「書く」になると20とか30とかに落ちているのがすごく分かって、苦しかったですね。

(ひすいさん) 分かっているものを、アウトプットする時点で減っていくのがわかるって、それはもどかしいところでしたね。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

(大ちゃん) そう、減っていくのが分かりました。話すのなら増えるのに、書くのだと減るんです。それが苦しかったのと、セミナーは相手の反応を見ながら、進めることができるので、同じコンテンツでも、この人にはAとして伝えよう、この人にはBとして伝えようというように、その場で変換することができていたんですね。ですが、書くという作業は、1つの書き方で、色んな人に響くように書かないといけなかった。それが書くっていうことの奥深さだと思うし、自分の思いを文字に乗せていくことの素晴らしさと難しさを両方体験しましたね。

(ひすいさん) まず、僕の感想を伝えさせていただくと、この本は、まさに、「お金の地図」だと思いました。色んな状況の人が、今どこにいて、どこに向かえばいいのか、「現在地」と「目的地」をつなぐ地図を手に入れることが出来る本だと。しかも、それぞれタイプ別に書かれているから、挑戦者も、勇者も、賢者も、老師も体験して、把握していないと書けないし、これを30歳で書けているっていうのが本当に驚き！！

特に後半、老師のあたりとか、30歳で、よくこのフレーズが書けるなって箇所がたくさんありました。例えば、「老師は教える人でありながら、その本質は愛し、愛され、共に生きる存在です」とかね。驚くフレーズがいくつもありました。

(大ちゃん) 嬉しいな。20代前半の頃から、わし自身が老師に出会いたかったんです。そして実際に沢山の老師と出会って、自分がそうなりたい、そうありたいと思った時に、いつも自分に言い聞かせている言葉や考え方をまとめたのが老師の章です。わし自身はすごい人でも、完璧な人でもないですけど、あり方に関してはずっと探求と実践をしてきました。

(ひすいさん) なるほど。大ちゃんのグルコンでやっている「本音のやり取りを通じて、心を通わせていく」というのが、今回の本は「お金」という軸で、より具体的になっているから、この本を通して、生きる指針をプレゼントされる人が、すごく多いでしょうね。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

(大ちゃん) そう言ってもらえると嬉しいです。初めての著書なので、まだ自信がもてなくて(笑) 今も、みんなが感想をくれるのを見て、「ああ、良かったなあ。喜んでもらえとるんじゃないなあ」って、ホッとしています。

【お金は優しさに繋がっている】

(ひすいさん) 「賢者は、勇者の孤独を愛し、勇者は賢者からの愛に気付く」というフレーズもドキッとした。僕自身、僕を支えてくれている賢者たちの愛に気付いていなかった面が多々あったことに気付き反省させられました。

僕は作品(本)を作ることにフォーカスがいきすぎちゃうところがあって、それを一緒に支えてくれている賢者の頑張りや愛を、なかなか見れてこなかったなと、もう大反省しました。

これをね、大ちゃんが30歳で書いているっていうのが、本当に驚きだよ(笑)。

1行1行が、すごく行間を含んでいるから、その都度、その都度、感じ方が違う。読み終わったら、永遠に最初から読めると思う(笑)。

そういう意味では、この本の一番の凄さは、行間にある。行間を通して、言葉にはしてない大ちゃんの叡智とアクセスできる。

なにより、行間から伝わってくるものが優しいよね。

(大ちゃん) へえ、そうだったんですね。

(ひすいさん) その時々で、気付くところが、きっとすごく違う。それが顕著に出る本じゃないかなあ。

(大ちゃん) それはあるかもしれないですね。勇者の自分、賢者の自分、老師の自分、いろんな自分に気づくことができると思います。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

(ひすいさん) 挑戦者も、勇者も、賢者も、老師も、実は、全部、いまの自分の中にすでにいるもんね。いま、「不安な挑戦者」だとしても、必ず、その自分の深層には、老師的な自分もすでにいる。実は、各種、取りそろってる（笑）。どこまで成長してもどの自分も常にいるんじゃないかな。自分の中にいる、そのいろんな自分の指針を、ひとつひとつ改めて修正できるから、毎年、お正月に読み直してもいい本じゃないかな（笑）

(大ちゃん) そんなに言っていただいて、ありがとうございます。生きていくとステージが変わるし、どのステージにいてもいいんですよね。挑戦者でも、勇者でも、賢者でも。でも、ステージに応じて、自分自身や人との関わり方が変わりはじめているときには、気をつけないといけないと思います。例えば、勇者の道を進むときは、エゴが強くなるので、素直に感謝できなくなりがちな自分に気づいておけばいいですし、自分が支える側(賢者)から、支えられる側(勇者)になった時に気付くこともありますね。負けん気の強い人ならゴリ押しで進んでいてもいいんですけど、やさしい人たちはそういうのが苦手ですから。今回の著書のタイトルを考えてくれた編集者のあやのちゃんには、感謝しています。

(ひすいさん) 「やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方」って、素晴らしいタイトルだよ。大ちゃんはコンテンツが山盛りだから、それをどう切り取るかでまったく違う本になる。それを今回、「お金」を切り口にして、「優しさ」と結ぶって、大ちゃんの最初の見せ方としてはベストの「編集」だったんじゃないかな。編集者さんに、拍手を送りたいですね。

(大ちゃん) あやのちゃん、ありがとう。

(ひすいさん) 入り口はお金だけど、最終的に、全部が優しさにリンクしてくるからね。そこが素晴らしい。「豊かさとは心の状態である」って最初に書かれている通り。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

(大ちゃん) ありがとうございます。何か、照れます。とにかく初めてのことがばっかりだったので、上も下も右も左も分からないまま、ここまできました。実は、本屋さんに行ったのも、この対談の前が初めてだったんです。みんなが店頭に並んでいる写真を送ってくれてはいたんですけど、本屋に並んでいる状態を実際に見たのは、ニュージーランドから帰ってきてからだったので、「わ、本当に自分の本が並んでる」って思いました（笑）。ひすいさんの本とも一緒に並べてくださっている書店さんもあって、ああ本当にすごいことなんだなあって感謝しています。

(ひすいさん) 自分の本が本屋さんで並んでるってめっちゃ嬉しいですね。毎日新刊が200冊でるから、本屋さんで並んでる時点で、ほんとうにありがたいことですからね。

【お金とは感情の問題である】

(ひすいさん) 最初に大ちゃんが、「お金とは感情の問題である」と、気付いたきっかけっていうのは、どういう所にあったんですか？

(大ちゃん) 本の中にもあるロレックスの例え話を21歳の時に初めて聞いたんです。それが一番最初に、「お金と感情がリンクしているのかもしれない」という気付きの始まりです。例えば、本当にロレックスの時計が好きな人は、無人島でロレックスの時計を付けていても幸せだと思うんです。でも、人に見てもらいたいとか、成功しているように見られたいからロレックスが欲しいって人は、無人島だったらGショックの方がよかったんじゃないか、って思うかもしれません（笑）その頃から、本当に自分が欲しい感情を得るためにお金を得ることや、お金の使い方の大切さを意識するようになりました。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

(ひすいさん) お金の使い方を意識してたの？

(大ちゃん) はい、お金の使い方です。出入口って言葉があるように、入って欲しければ、まず出し方(使い方)を大切にするといいんです。

(ひすいさん) どういう風に気を付けるようになったんですか？

(大ちゃん) 何かを欲しいって思ったときには、「何で欲しいんだろう？」って問いかけるようになりました。何でこの本が欲しいんだろう、何でこの旅に行きたいんだろうとか、何でこの人にこれをプレゼントしたいんだろうとか。お金を使う時に、何で？って、毎回自分に聞くようにしていました。

(ひすいさん) 確かにそうだ。お金を使う時に「何でそれがほしいの？」って問いかけると、自分が本当に欲しい感情が、確かにわかってくるね。俺もやってみよう(笑)。

(大ちゃん) 多くの人買い物をする時に、欲しいという感情よりも金額に目がいくじゃないですか？わし、金額見ないんですよ。欲しいかどうか感じてから、金額見るんです。欲しかったら、高かろうが安かろうが買います。金額で迷う時って、実はそんなに欲しくないときなんです。本当に欲しいものは必ず手にする癖を20代前半からつけてきたので、絶対欲しかったらいくらでも買うし、今は無理でもいつかは買えるっていう感覚が当たり前になっているので、無駄使いすることもほとんどないですね。

(ひすいさん) なるほど。その結果、豊かさとは、モノではなく、心の状態だって気付いてくわけですね？

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

(大ちゃん) はい。温泉のたとえ話であるように、本当に欲しいものは、モノじゃなくて、心の状態なんだなって。人はその感情を得るために、仕事したり、生きたりしてるんだなって。ひすいさん自身は、一番自分が欲しい感情って何だろうって思い当たるものありますか？例えば、本を書くことが楽しいというのは、どんな感情や体験を得ることができるからなんだろう？

(ひすいさん) やっぱり、新しいもの、面白いものを作れたときの喜びが僕の中で一番わかりやすく欲しい感情ですね。

幕末の革命家・坂本龍馬が好きだったので、僕のなかでは、「新しいもの、面白いもの」っていうのは自然と革命と繋がっていて。「革命」というのは、「古い自分を終わらせる」ことであり「新しい自分になること」であり、僕自身がずっとそれが欲しかった。学生の頃は、毎日本屋に行って、俺の人生を変えてくれる本はどれだろうってずっと探していたから。それが、僕の原点かな。

(大ちゃん) うん、すごい伝わってきます。

(ひすいさん) 僕がずっと求めていたのは、「どうやったら人生、変えられるんだろう。もっと面白く幸せに生きられるんだろう」というもので、いまは、それを本として自分で作れるからすごくうれしいし、本を作ってる時が一番燃えますよね。

(大ちゃん) 本の中にもあるように、人って、無意識に自分が欲しい感情を与えようとするんですよね。ただ、持ってないと思うと、与えれないし、減るって思うんです。そして、与えられないと無意識に苦しくなるんです。でも、欲しい感情を与えた時に、実は喜びや幸せを感じることができる。与えるということは、自分が欲しがっている（今の自分が持っていないと思っている）ものは、与えようとすることによって、すでに自分は持っていたと気付くっていう豊かさなんですよね。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

(ひすいさん) 深いなー。大ちゃん、改めて聞くけどいま何歳？(笑)

(大ちゃん) 30歳です(笑)。ひすいさんの『見る見る幸せが見えてくる授業』にも書いてあるように、「ない」ものに目を向けるというよりも、「ある」ってことに気付くことによって自分の幸せが見えてくる。それがすごく大事な事だなんて。お金は、「ない」という欠乏感や枯渇感を炙り出す最高のツールなので、お金の問題がある人っていうのは、今の人生において、自分が何に取り組めばいいのかっていうのが分かりやすいはずなんですよ。ただし、過去からの癖で抵抗してしまったり、一人で見ようとしていると苦しいので、賢者は勇者と、勇者は賢者と、そして出来れば老師にも傍にいてもらって見ていければ、色んな事が紐解かれていくと思います。そういう意味でも、読者のみなさんにはグルコンに参加していただきたいですね。これからは、一人で生きる(ME)の時代ではなく、わたしたちという意識で生きる(We)の時代です。

【未来の自分が欲しがっているものを、今から与える】

(大ちゃん) これは本には書いてない事なんですけれど、自分の欲しい感情を与えることで、経済的にも精神的にも豊かになれるという話をしますね。多くの方は、過去の自分が欲しかったものを無意識に与えるじゃないですか。このあたりは、ひすいさんともグルコンでお話しましたが、未来の自分が欲しがっているものを今から与え始めると、今までの人生と違う流れが始まります。わし自身ももう一度、この原則に取り組もうと思っているんです。20代のわしはひすいさんと同じで、生きるって何だろう、本当の自分って何だろう、幸せって何だろうということをすごく考えていて、それを教えてくれたり、きっかけをくれる先生たちと出会い続けることで成長してきたので、自分自身も先生業をすることが多かったんです。そのスタイルを続けることも面白いんですけど、30代は全く違うアプローチで出来たらいいなと思っています。特に今、「平和」と

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

いうテーマや「世界」というテーマが見えてきているので、過去の延長線上ではない、未来の自分が既にやっているであろう感情からすべての物事を選び直すという、OSの書き換えみたいなものをしていこうかなって思っています。本当は今年やる予定じゃったんやけど、今年出来なかったのだから来年から。

(ひすいさん) 過去の延長からついつい考えちゃうもんね。未来から発想するって面白いね。そういう意味では俺は何かな。

(大ちゃん) ひすいさんだったら、映像な気がします。映画とか音とかかな。

(ひすいさん) 音、確かに、確かに!!! ちょうど1年前に、三味線を始めたんです。正直いって、この忙しさのなかで、三味線を習う時間をつくるのはけっこう大変だったんです。いま、ありがたいことに、何社も出版社さんから待ってもらってる状態だから、ちょっとでも時間があったら、本を書きたいところだし、もともと本をつくるのが僕は何より大好きだし、その上、喜ばれるし、お金までもらえる(笑)。だから、誰からも求められてない三味線なんか、損得で考えたら、僕はやらない方がいいと思うんです(笑)。そんな暇があるなら、本を書けて編集者さんも言うと思う(笑)。

でも、未来には音楽に関わってる自分がいたらうれしいって思っちゃった。その未来を出現させるには、ちょっとでもいいから始めるしかないわけですね。で、先日、あるイベントで、その三味線を披露せざるをえない環境に追い込まれて(笑)。250人の前で披露したんです。まだ1年ですから、すごい下手なんです。ほんとは見せたくなかったんです。カッコ悪い自分を。結局、手が震えて演奏もグタグタになり1曲弾き終わったあとは、Tシャツが汗でビッショリになるほど緊張したんですが、カッコ悪い必死な自分を見せるって、案外、気持ちよかったなって(笑)。カッコ悪かったけど、未来の蕾が確かにそこに感じられた。だから、恥をかいたのにすごく気持ちがよかった。過去の延長で生きるのではなく、未来をいまにもってくるって気持ちいいって体感できたんですね。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

でも、そこは確かに余白を作らないとやる時間がつくれない。

今日のスケジュールは「過去」でいっぱいだから、余白をつくらないことには「未来」の入り込む余地がない。大ちゃんがいう「スペースをつくる」ってやつですよ。

(大ちゃん) まさにそうですね。わしも、今回お金の本を書かせていただいたり、20代である程度のお金と自由を手にして、いつも思うままに生きているので、これからも同じこと続けていけばそれらが積み上がって、お金も時間もさらに手に入る流れにはのっています。でも、自分の魂の本当の部分では、その選択を選ぶことがこれからの自分の道ではないことをわかっているから、そこに執着せずまったく違う未来を切り拓くんだろうなと感じています。

ちなみに、そういう時は、旅に出るようにしています。今回は、ニュージーランドにいったのがすごく良かった。ニュージーランドは元々インスピレーションを感じていたんで、いつか行きたいなと思っていたんですけど、実際に行ってみると、どこか懐かしい景色や人に出会ったり、理由はわからないけど、これなんだよなっていう感覚を得ることができました。過去のエネルギーで今をつくるのではなく、新しい未来を作りたいときは、そんな言葉にならない感覚に対して素直に時間とエネルギーを使っていけるといいなと思います。

(ひすいさん) なるほど、なるほど。僕の場合、作家生活12年で、その集大成的な作品が2冊かけたんですね。『見る見る幸せが見えてくる授業』と、まもなく発売になる(2018年1月26日予定)『3秒でハッピーになる超名言100』。この2冊で過去の自分に、1000点満点をだせたんですよ。だから、気持ち的には、余白をつくる余裕が生まれましたね。過去の自分に1000点満点出せたから、ちょっと新しい所に行きたくなりましたね。

(大ちゃん) すごいなあ！おめでとうございます！過去のエネルギーで今をつくらないことがすごく大事だなんて思います。人生がシフトするときって、一旦

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

いろんなものがカオスの状態になったりしますが、それは高くジャンプをするための屈伸のようなもので、不安になる人もいると思うんですけど、カオスも楽しんでいけばいいですね。そういう時にこそ周りにちゃんと仲間がいるかどうか大切だと思います。一人で老師も挑戦者も賢者も勇者も、全部やるのはきついで、そういう時に支えてくれる人がどれだけいるかが、真の財産という話にもつながってきます。

(ひすいさん) そうですよ。自分らしさを表現して、それで周りに仲間ができていくって、そこに豊かさの全部があると思うな。

【孤独なお金を得る時代から、時間とお金の豊かさが叶う時代へ】

(大ちゃん) 例えばこの本を読んで、よし「俺は勇者に生きるぞ、私は賢者に生きるぞ」とやる気になったとするじゃないですか。現実的な話なんですけど、個人事業や社長一人の法人でつくることができる売上規模って、多くの場合、年商で言うと約2~3千万くらいなんですよね。本を出したり、1日当たりの粗利が数十万円以上になるような高単価な商品を持っていたり、販売個数が数百とか数千レベルの商品があれば、5千万以上もいくんですけど、そういう人って本当に一部だと感じています。まさに勇者の道ですね。

この本を読んで、もしあなたが月に1万でも3万円でも豊かになれたのであれば、わしはそれでも十分だなあと思っています。あくまでお金はひとつの基準でしかなくて、大切なのは自分が欲しい感情に気づいて、それを与えたり、受け取ったりするなかで、自分の真の幸せや豊かさに気づくことがこの本で伝えたいことですし、それに気づいたあとは、いくらでもお金をつくる仕組みやビジネスモデルはつくれますから。逆に、感情や関係性に対する気づきがないビジネスはいくらがんばっても疲弊したり、争いが絶えないです。

今からの時代はお金が基準じゃなくて時間が基準になっていくと思います。時

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

間というのはいのち。「いくら稼ぎたい」じゃなくて、「どんな風に時間を過ごしたいか」をベースに考えていかないと、自由な時間や心のゆとりが減って、孤独な勇者とか孤独な自営業が増えてしまい、孤独な勇者の周りにそれを癒すために人が集まる。でも、投影の仕組みを知らないから、周りも癒されないし、ドラマが始まってしまう。そのパターンはおもしろくないし、もう古いので。

これからの時代は、自己実現じゃなくて、自己超越です。自分が、「ある程度の幸せのラインや自分を生きるということを超えたな」と思った人たちが、一緒に何かをしていく必要性というのを見出していきたいと思っています。

極端な話、誰かと一緒にやる必要性って、本当はないんですよ。例えば、わしが一人でこのまま事業を続けていても、暮らしていけるし、実力もどんどんレベルアップするし、問題はありません。でも、それだと何かが違う気がしています。本当に世界全体を見渡したときに、自分のことをやり終わった人たちこそ、何か一緒に始める必要があるんじゃないかなってというのが、時間についての考察につながっていきます。老師は感情使いだけど、時間使っていう側面もあって、過去や未来をすべて越えて、いのちとはどういうもので、どんな風に使っていくと、どんな新しい未来がはじまるのかを見据えているんだと思います。

(ひすいさん) ほんと、そうだよ。ウルグアイの政治家、ホセ・ムヒカさんは「物であふれることが自由なのではなく、時間であふれることこそ自由だ」って言っていて、パタゴニアの創業者、イヴォン・シュイナードは「魂にとって心地よい生活がしたい」と言っている。

そして、魂が心地よく感じる時間として、自分らしくいられる「コミュニティ」の存在がよりクローズアップされてくるでしょうね。お金を基軸にした時代から、時間の軸にうつっていく。スローライフとか全部、時間ですもんね。

(大ちゃん) そう、時代はなんとなく時間の大切さに気づき始めているけれど、やっぱりお金っていう基準がまだ強い印象があります。それって、お金と時間の関係性に気づいていないからじゃないかなって。例えば、スローライフって、お金がかからない。でも時間は豊かな、みたいなイメージで、通常的生活は、暮ら

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

すだけのお金はあるけど、自由な時間はほとんどない、みたいな。でも、お金も時間も両立できる生き方があるし、それをわしやひすいさんはできているわけですね。特別な才能がある人じゃなくても、こういう新しい生き方が実現できる時代が、もう来てると思うんです。

でも、感情の未整理とか、人間関係のごちゃごちゃで、その機会をロスしている人があまりにも多い。信頼関係ができていたらかからない時間やコストが、信頼ができていない分、ものすごく余分にかかっていたり、素晴らしい才能や価値を持っているけど、才能を見出してくれる老師や活かせる環境に出会えていなかったり。そういうことに対する霧が少しずつ晴れていったらいいなって思います。そのために、老師として生きる人たちが増えたらいいな。お金を持っていないが持っていまいが、老師として生きることはできますから。

【勇者・賢者の関係性】

(ひすいさん) この本を読んで、「自己価値に関する勇者のテーマは、自分で自分を認めることですが、賢者のテーマは他者からの承認によって自分を認めることです」とあります。

この一行が僕にとっては値千金で、「そうか、賢者の人たちは他者からの承認が大事なのか」って改めて気づかされて。自分を支えてくれている賢者たちに対して非常に反省させられた点でもありました(笑)

(大ちゃん) そう、勇者は自分で自分を褒めて、「よしいぞ、自分！自分最高！」って思えるんですね。

(ひすいさん) そう、僕自身が、自分が自分でよしとすぐに思えるから、みんなそうだと思うっちゃうんだよね(笑)

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

(大ちゃん) わかります。わしもそうやってきましたから(笑)でも、勇者の周りには必ず賢者がいるので、賢者の人たちに対する勇者の接し方が変わるだけでも、じつは勇者自身がどんどん変化していくことになりますよ。

(ひすいさん) 大ちゃんほんとは何歳なの?(笑)。

あと、この言葉いいよね。

『誰のために生きていくのかを明確にするのは、
誰を真の勇者とするのかという問いと同じである。』

こんな言葉、30歳で書ける?このセリフね、87歳の人が初めて書ける言葉だよ(笑)。

(大ちゃん) はは。ひすいさんの周りに賢者がたくさんいるってことは、ひすいこたろうを勇者にしたい賢者がいっぱいいるんですよ。わしも、たくさんの人達に支えられて、今の自分があるので感謝しています。

(ひすいさん) もう感謝と反省で胸がいっぱいです(笑)。でもこの本は、本当に多岐にわたっていて、大ちゃんの脳はどうなってるの?

(大ちゃん) わしも、わかんないです(笑)

(ひすいさん) 色んな人を見てきているからってというのが大きいのかな?

大ちゃんは、人間に対する理解が深いよね。深くて、優しい。まるで俺みたい(笑)

(大ちゃん) ありがとうございます(笑)。この本は、今からお金を得ていきたいと思う人にも読んでほしいですし、既にお金を手にしているリーダーや経営者の方、経営幹部の人にも読んでほしいです。そうすると、なぜ組織や部下が動かないのか、なぜあのポジションをつけてやっているのに能力発揮できないのかなどがよくわかるんですよ。そうか、俺が勇者としてやれやれ言ったとして

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

も、賢者は動かないんだとか、老師として見守ってても挑戦者のステージの人にはこういうことが必要なんだとか。お互いの特性や現在地を愛から理解できる、やさしい会社やリーダーが増えたらいいなと思っているので、企業研修や組織開発、チーム作りなどにもすごく使える気がしています。

(ひすいさん) そうだね、やさしい会社が増えるといいね。

【絶望が寄り添ってくれている】

(ひすいさん) P.202に「『人生はどのようになっても、よりよい方向へ進んでいる』という原則を受け入れたことで」と書いてあるんだけど、大ちゃん、このことが腑に落ちた瞬間ってどんな時なんですか？

(大ちゃん) 生きることに苦しんでいたときですね。当時、23、24歳くらいかな。じぶんが精神的に、霊的に生きるってことを決めて、じぶんってなんだろうと探求して生きていくんですが、人生でうまくいかないことが起きる訳です。その当時のわたしは、「宇宙とか神様とかがもしいるんだったら、そういう存在を信賴して生きてるのに、なんでこんな仕打ちを受けなきゃいけないんだ！」と反発していました(笑)「こんなに人のために尽くして、自分の時間も投げ打って、本当の自分を生きているのに、こんな仕打ちをされるんだったら、もうこんな人生辞めてやる！地球なんかぶっ壊れればいい！」みたいな(笑)そういうエゴまみれの絶望をしていた時期があったんです。

でも絶望には、時間が必要なんですよ。そして、絶望は解決するものでなくて、寄り添うものだと気付きました。ただただ、その時間を味わい、エゴの感情が過ぎるのを待つ時期が必要で。待った後、振り返ってみると、「天よ、あんなこと言ってすみませんでした。今ならその意味が分かります」ということが何回も何回もありました。今もありますし、これからも多分あると思います。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

そう思えるようになるには、絶望にちゃんと寄り添うこと。絶望って解決しようとしても、絶対に解決しません。ちゃんと絶望を苦しみ抜いたらいいと思います。ただし、ここでも一人でやらないことですよね。

(ひすいさん) 絶望は解決するものじゃなくて、寄り添うものだと。

(大ちゃん) うん。正確には、絶望が寄り添ってくれているんですよね、実は。

(ひすいさん) 絶望が寄り添ってくれている！！！！????

(大ちゃん) うん、絶望がわしらに。それに気づかないだけ。

(ひすいさん) 絶望がより添ってくれているって、これまた 158 歳の境地の言葉だよ (笑)。すごいな。実は、1月26日に出る『3秒でハッピーになる超名編100』という本は、シェイクスピアやミケランジェロ、ゲーテ、サン=テグジュペリ、ジョンレノン、太宰治、吉田松陰などの古今東西の偉人たちの名言に僕が解説を入れさせてもらってる本なんですけど、その中に吉武大輔の名言が出てくるんですよ。いまは内緒にしておきますけど (笑)。

(大ちゃん) あららっ。なんと畏れ多いです。

(ひすいさん) 本では、シェイクスピア、ミケランジェロ、ゲーテ、吉武大輔と偉人が並んでるから。

(大ちゃん) 畏れ多すぎるそれは (笑)

(大ちゃん) 本当に、ひすいさんに育ててもらったなと思います、わしは。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

(ひすいさん) いや、それはないよ。

(大ちゃん) ひすいさんはすごく褒めてくれましたし、それこそグルコンでやっている本音の自己開示と愛からのフィードバックをひすいさんと一緒にさせてもらったなって、すごく思います。

(ひすいさん) そう言ってもらえるとうれしいけど、大ちゃんは僕にとっては未来ですからね。ドラえもんの4次元ポケットみたいな人。その4次元ポケット、俺も欲しい!!!って(笑)

(大ちゃん) これから一緒に本を作っていけるのが楽しみです。

(ひすいさん) 大ちゃんと一緒にいい本つくりたいですね。おもしろい未来をつくるために一緒にいろいろしていきたいですね。

【感謝と絶望、感謝が湧いてくる感覚】

(ひすいさん) あと、本に出てくる、この言葉もめっちゃ深いよね。

「目の前の出来事や問題は自分が心の奥に隠して来た感情に気づくために起きていると受け入れた時に、自然と湧き上がる感情が感謝。感謝はしようと思っできるものではない。」っていうところ。

大ちゃんが感謝に気付いた時って、どういう時ですか？

(大ちゃん) 感謝は湧いてくるものだっていうのに気づいたのも、やっぱり絶望とともにあったからですね。多分ひすいさんや多くの人が、「大ちゃんは、年齢と中身が合わない。中身はおじいちゃんが入っているんじゃないか(笑)」って言ってくれているのは、人よりもちゃんと絶望したり、悲しんだり、苦しん

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

だ経験が多くて、絶望と一緒にいた時間が多いからだと思います。

(ひすいさん) でした！！！！また158歳の名言！（笑）。正しい絶望の仕方は、ちゃんと絶望することだと（笑）。絶望が大ちゃんを育てたんだ？

(大ちゃん) うん。そうだなと思います。偉人たちもきっとそうだったと思うんですよ。順風満帆に偉人になった人はいなくて、右往曲折の人生の中から光を見つけていった人たちが、真理や幸せに気づいていったと思うので。わしは年の割には絶望が多かったのと、年齢的にたまたま早かったんじゃないかなって。

(ひすいさん) 何にそんなに絶望していたんですか？

(大ちゃん) 20代は分離感とか、孤独感ですね。人と違う自分と、人と一緒にいたい自分。この間で苦しんでましたね。で、30代はそれが終わったので、人と違っていいという前提から、何を共に作っていくのかっていうのがすごく楽しみになってきました。20代は準備運動みたいなものだったんだらうなって今になって思うし、きっと40代になったら、30代は本番前のアップだったって言っていると思います。

(ひすいさん) なるほど。

(大ちゃん) ちなみに、感謝ができない人にお勧めなのは、感謝できないんだってことを相手に伝えることです。

(ひすいさん) ここでも、本音のフィードバックなんだ。

(大ちゃん) はい、そうです。「ほんとうごめん。感謝したいけど、感謝できないんだ」って本音を伝えると、実は感謝している自分に気づけるし、相手にも伝

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

わるんですね。感謝を伝えられないのは、恥ずかしがったりしていたり、プライドが邪魔しているだけだから。

(ひすいさん) やっぱり、その奥には愛がある。伝えた瞬間に、わっ！って湧いてくるの？

(大ちゃん) そうです。それを表に出すか、出さないかは、その人次第ですけど。

(ひすいさん) 感謝の思いがわいてくる？

(大ちゃん) そうです。極端な話、気持ちがこもっていなくても相手が話を聞いてくれる人であれば、「あなたに感謝ができません。感謝ができなくてごめんね。でも、私はこんな気持ちで、こんな風に思っているから、感謝ができないんだ。だって、」みたいに本音を話していくと、だんだん感謝の気持ちがでてきます。

(ひすいさん) それはどういう理屈で出てくるの？

(大ちゃん) 本当は感謝しているからです。

(ひすいさん) ああ、感謝はすでにあるんだ。あるからでてくる。感謝できないってというのは、表面的に今できないってだけで？

(大ちゃん) そう、どんなに感情に蓋をしても愛には勝てないんですよ。人間の動機は 100 パーセント愛。動機も含め、存在も含め、私たちは愛です。普段は、そういう存在である自分や相手にちゃんと向き合っていないのでなかなか心の扉が開かないんですけど、ちゃんと開き続けていくと、蓋をしている部分

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

から、愛が絶対出て来ちゃいます。

(ひすいさん) 「どんな蓋をしても愛には勝てない」。またしても158歳名言でした！(笑)。うーん。なるほど。愛が出てきたらもう勝ちだね。あとは愛がなんとかする。

(大ちゃん) はい。「わいてくる」という感覚が分かるといいなあ。するじゃなくて、感謝がわいてくる。有難いなあって。本当に愛されているんだなあって。もう、その時に降参ですよ。まいりました。って。

(ひすいさん) そうだねー。「感謝」と「ゆるし」は頭ではできないもんね。それはするものじゃなく、溢れてくるもの。僕にもその経験があった。2005年のお正月。なんだか普通の毎日がほんとはすごくありがたいものなんだって感謝が溢れて家で泣けて泣けてしかたなくなることがあるんです。「幸せの本質とは何も起きない、普通の毎日です」って心理学博士の小林正観先生が言っていたけど、それはほんとうだったって。その6ヶ月後の6月6日。僕の結婚記念日に、出版社のディスカヴァーブック大賞で特別賞を受賞し『3秒でハッピーになる名言セラピー』で作家デビューが決まったんです。作家になれたから感謝が溢れたんじゃないって、何もないなかで感謝が溢れたら、あとから現実がついてきたんですよ。

地球はマグマをその奥に隠してるように、僕らもその奥にもともと感謝を宿している。だから、ひよんなことから溢れたんだと思います。

【本は、まだ完成していない】

(ひすいさん) 原稿を書き終えた時に、一番感じたことってどんなこと？

(大ちゃん) 書き終えた時ですか？全然自信なかったです(笑)。本って、読

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

者さんに読んでもらって初めて完成するんだなって、すごく思いました。

(ひすいさん) うーん、なるほど。

(大ちゃん) わしが自分で完成したと思っても、これを読んだ人たちとどういう関係を作るのか、どんな感想をもらえるのかまで含めて真の完成なので、わしの中で、まだこの本は完成していないんです。今日のひすいさんとの時間のなかで、本が完成するためのピースを一個もらった感じです。自分が作り上げたものをみんなが愛してくれて初めて完成するんだなって。だからまだ、書ききった気がしていないんです、実は。なんでここに本があるんだらうって思ってるくらい
(笑)

(ひすいさん) 読んでくれた人の中に起きることも含めて本。

(大ちゃん) そう。

(ひすいさん) その考え方がとっても素敵だな。さすが関係性のなかで愛に生きる男。推定158歳！（笑）

(大ちゃん) この本がどんな人たちと、今から出会わせてくれるんだらうってというのが楽しみです、直接は出会えないかもしれないけど、誰かの人生の何かのきっかけになっていたらいいなあって。

(ひすいさん) 読んでくれた人がいて完結するっていうのは、書き終えた時に感じたの？

(大ちゃん) はい、書き終ったー！みたい感覚は感じなくて、なんでだらうなあって思っていたときに、読者の方の存在を感じて、この後、この本はどうなっ

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

ていくんだらうっていう気持ちの方が強かったですね、

(ひすいさん) あくまでも大切なのは、フィードバックやその関係性なんだね、大ちゃんは。

(大ちゃん) はい、わしは関係性ですね。

(ひすいさん) やっぱり関係性があって、自己開示して、フィードバックして、っていうのが一巡して、それで完結なんですね。

(大ちゃん) わしはそういうタイプみたいですね。本当にたくさんの方が力を貸してくれてできた本なので。ちなみに、勇者の道と賢者の道のマップがあるじゃないですか？ 41ページに。実は、この2つのルートだけじゃなくて、本当は4つのルートを作っていたんです。

(ひすいさん) 4つのルート？！

(大ちゃん) はい。勇者の道と賢者の道の派生系なんですけど、挑戦者から勇者になった後に、賢者になって老師になるっていうN型の道と、挑戦者から賢者になった後に、勇者になって老師になるっていう逆Z型の道。あなたを豊かにしてくれる4つの道みたいな感じで。わしの場合も、挑戦者から勇者になって、その後賢者になり老師を目指しているN型タイプなので、このN型と逆Z型の面白さもセミナーなどで伝えられたらいいかなあって思っています。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

【おまけの話。一番見せたくない自分を見せると楽になる】

(ひすいさん) さっき話した、イベントで三味線を披露した話。あれ、初めて講演した頃ぐらいの緊張で、10年ぶりの緊張でした。

(大ちゃん) 素敵ですね。

(ひすいさん) もう、顔もひきつるぐらいの緊張で(笑)

(大ちゃん) いいですねー(笑)

(ひすいさん) イベント当日は、控え室があったので練習していたんですよ。僕の三味線の先生も来てくれて。で、控え室で先生と音を合わすと先生がびっくりしてくれたんです。すごい上手くなったと。本番直前の控え室で先生と合わせた時に、自分でも今までで一番上手いと思ったんです。

(大ちゃん) すごい。

(ひすいさん) 先生もすごい褒めてくれて。いきなり上達したねって。で、それも二回合わせて、二回連続過去最高の演奏ができたんですよ。これはいけると思って、みんなの前に立ったら、もうみんなの注目がすごすぎて(笑)。3割ぐらいしか出せなかった。

(大ちゃん) 3割(笑)

(ひすいさん) そう、だから終わったあとは、「俺、ほんとはもっとかっこいいのに。もっとできる子なのに」って凹んでたんです(笑)。で、二日ぐらいたったら、逆に、かっこ悪い自分を見せれて良かったって思ったんです。ある意味、

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

僕としては、一番見せたくなかった自分を見せちゃったんですよね。

(大ちゃん) なるほど (笑)

(ひすいさん) 一番見せたくない、カッコ悪い自分を見せるって、それ、気持ちいいなって気づいちゃったんです (笑)。それがギフトでしたね。

(大ちゃん) すごいですね。自分のダメなところを知ってくれる人がいると楽になりますよね。わしも、仕事を一緒にする人たちには、吉武大輔の取扱説明書っていうのがあるので、それを毎回送るようにしています。

(ひすいさん) それ、誰もがみれるわけじゃないの? (笑)

(大ちゃん) 見れないです (笑) そこには、「吉武大輔ってこういう人間なんですよ」っていうのが、良いことも悪いこと全部書いてあるんですよ。

(ひすいさん) ああ、そうなんだ。ほんとは158歳ですって書いてるんだ (笑)

(大ちゃん) ははは (笑) だからそれを見てもらった上で一緒に仕事するって思ってくれた人に関しては、最初からフルオープンで関われるのでとても楽なんです。

(ひすいさん) そうだよな。僕もダメな自分を見せられたら楽しかったもんな。ダメな自分でもほんとは愛されてるってことに気づいたら、世界は変わりますよね。ダメな自分では愛されないって自分が思い込んでるだけですからね。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

【エピローグ】

(大ちゃん) ほんと、形になってよかったー。

(ひすいさん) ねー。すごいねえ。編集者にも恵まれましたね。

(大ちゃん) 本当に。あやのちゃんのおかげです。

(ひすいさん) 素晴らしい切り口だったね。

(大ちゃん) うん。この本書くプロセスで、いろんなことを体験しました。分離、統合、調和、カオス。本当に有難いし、未だに本屋さんにこの本が並んでいるのが不思議な感じですね。

(ひすいさん) そうだねー。1冊目だもんねー、大ちゃん。

(大ちゃん) 次が出れば良いですけど、売れなかったら出せないですね(笑)

(ひすいさん) 出る出る！ちょうど僕も、今回出させてもらった『見る見る幸せが見てくる授業』で、集大成ができたっていう思いで、一旦やりきって、過去の12年間の一区切りができたと本当に思ったなあ。

(大ちゃん) ひすいさんとわしは今同じタイミングと流れにいますね。わしも20代に憧れてた自分をやりきったんです。本出す、セミナーをする、お金を稼ぐ、時間も余裕があって、世界いつでもどこでも好きに行ける。20代に思い描いたビジョンは既に今の自分の当たり前なので、これからは全く違う路線に生きていきたいと思います。わしにとっては、家族作りとか暮らしの拠点が決まっていることとか、海外にも仲間が増えていくこととか。後はやっぱり、日本のメ

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』

吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

ンターを海外に紹介したいっていうのもすごくあります。今の日本は、海外からメンターと呼ばれる人たちがくることはあるんですけど、そうじゃなくて、日本のメンターや素晴らしい人たちを海外に紹介していくようなこともたしたいと思っています。今回のニュージーランドにも行って、英語が話せる仲間が多かったんですけど、わし自身も一応、英文科卒業で、英語の教員免許も持っているので、英語とのご縁はあるので、そろそろ向き合わないとなと思います（笑）

そろそろ対談を終わろうと思うのですが、最後にひすいさんから読者のみなさんにメッセージはありますか？

（ひすいさん） お金って、僕は「自分自身」だと思っています。だから、自分を喜ばせ尽くしたら勝手についてくる。自分を喜ばせ`尽くす、というのがポイントで、自分を喜ばせ`尽くす、には、自分だけ満たされててもマックス50%で、のこりは、大切な人にも喜んでもらうことで、初めて100%になる。「あ」なたで始まり「わ」たしにたどり着くのが、「あ」行で始まり、「わ」行で終わる五十音。日本語がその優しい世界観を見事に示してくれてると思います。大ちゃんが、この本を通して示してくれた優しく豊かになる人生マップ。それをみんなで実現して優しい社会をつくりたいよね。そして優しい地球を今日産まれてきた子どもに贈りたいよね。

「優勝」という言葉って、最後は「優」しい人が「勝」つって書きます。優しいあなたほど、豊かさを受け取ってほしい。それが大ちゃんの願いであり、天の願いです。大ちゃん、今日はありがとう！！！！そして、読んでくれたあなた。あなたの優しさに心から拍手を贈ります。ひすいこたろうでした。

（大ちゃん） ひすいさん、今日は本当にありがとうございました。

『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』
吉武大輔×ひすいこたろう 特別対談 PDF

=====

【吉武大輔 情報】

○『やさしすぎるあなたがお金持ちになる生き方』
<http://amzn.to/2BJMA36>

○吉武大輔 公式メールマガジン
<https://1lejud.com/stepmail/kd.php?no=122034>

【ひすいこたろう情報】

Universe Thank you

▲▲▲ありが島▲▲▲

毎週ラジオやってるのでよければ聴いてみてね。ネットで聴けます。

<https://ameblo.jp/hisuikotarou/entry-12201529657.html>

=====